

技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

評価の観点および規準

【知識・技能】

家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

自分と家族、家庭生活と地域とのかかわりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の方法

【知識・技能】

定期試験の成果。提出課題の内容等。

生活の自立に向けて実践的な基本的技術が身に付いている。提出課題の内容等。

【思考・判断・表現】

生活におけるあらゆる課題において、よりよい解決をはかるための工夫ができる。
提出課題の内容等。

【主体的に学習に取り組む態度】

ワークノート・プリント・課題の提出、授業態度等。

技術・家庭科（家庭分野） 3学年 学習内容

題材名	学習内容
＜家族・家庭と地域＞	①私たちの生活と家族・家庭の機能 ②中学生としての自立 ③家庭生活と地域との関わり
＜幼児の生活と家族＞	①幼い頃の振り返り ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児の1日の生活 ⑤支えられて身に付ける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び ⑦幼児との関わり方の工夫 ⑧幼児との関わりを生活に生かす ⑨子どもにとっての家族
＜これからの家庭と地域＞	①家族との関わり ②家族や地域の高齢者との関わり ③地域での協働を目指して
＜責任ある消費者になるために＞	①消費者としてできること～権利と責任～ ②省エネルギーと持続可能な社会 ③持続可能な消費生活を目指して
＜学習を終えて＞	3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。 できるようになったことから、これからの生活で生かしていきたいことを考える